

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	965 生活保護世帯扶助費等経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本 施策	07 老後の生活や低所得者の自立を支える	目	02	民生事業活動費
		細目	186	民生事業活動経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	行旅人移送費等経費
担当部課	コード	603000		担当者 氏名
	名称	島ヶ原支所住民福祉課		
		前出	公子	連絡先
				59 - 2163 (内線) 34

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	当市に滞在し、又は当市を通過する途上の行旅人で、やむを得ない事情に事情により運賃又は食費等を所持せず、かつ換金する物品がない等前途の行旅が出来難い者であって、当市に対して緊急的に旅費の支給を求めた者 ※対象件数
成果(どうする)	一定の旅費等保護費を支給することによって、行旅の継続が可能となる。
根拠法令・要綱等	伊賀市行旅人旅費等保護費支給事務取扱要綱
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業 内容	行旅人旅費等保護費を支給した。支給額は鉄道(鉄道等普通運賃相当額)及び軽食費とする。当支所から東行きはJR島ヶ原～JR亀山とし、運賃740円と軽食費160円の計900円とする。西行きはJR島ヶ原～JR奈良とし、運賃570円と軽食費160円の計730円とする。
社会情勢 の変化等	制度に反して何度も支給を求めてくる行旅人がいるので、制度の内容を説明し理解を求めている。

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			支給をおこなった行旅人数	人	目標 32 実績 12	目標 25 実績 4

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	実績	目標	実績

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	11		4		22		22	
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0		0					
一般財源	11		4		22		22	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)		731		724		742		742

### 事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	常習的に支給申請する者に対策を講じる必要がある。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 常習者と思われる運賃、軽食費の支給はなかった。

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	川口 正仁
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 緊急かつ一時的な援護が今後も必要であり、現状維持していく。
現時点における 課題、その他	現在の社会的背景から増加傾向にある。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	何度も支給を求めると行旅人に対し、支給履歴確認を怠らないよう注意を払い実施していく。